

第2回 東旭川まちづくり推進協議会議事録

日 時： 令和7年12月15日（月） 午後6時00分から午後7時00分まで

場 所： 東旭川公民館 講堂

出席者： 磯石会長 西山副会長 池本委員 伊藤委員 踊場委員 亀上委員 小西委員
佐藤（翔）委員 椎名委員 曾根委員 谷川委員 玉井委員 中村委員
畑山委員 横尾委員

以上 まち協委員15名

オブザーバー： 社会福祉協議会 飛世氏

事務局： 羽田野支所長 岡本副支所長 長野主任 河野主任 植松主任

その他： 地域活動推進課 平島主幹

1 開 会

事務局から委員及びオブザーバー等を紹介し、委員の交代があったことが報告された。

2 説明事項

地域活動推進課 平島主幹から「地域自治推進ビジョン」の見直しについて説明があった。

3 会長挨拶

議事に入る前に磯石会長から挨拶があった。

4 議 題

(1) 東旭川まちづくり推進プログラムについて

事務局から今年度の取組内容等を反映した令和7年度東旭川まちづくり推進プログラム（案）が提示された。

(2) 令和7年度事業の実施報告について

ア 地域グルメ部会

西山部会長から、8月10日（日）、東旭川屯田公園で東旭川中央地区市民委員会が主催する「ふれあいまつり」と同時開催で「東旭川まるっとマルシェ」が開催され、東旭川の飲食店や旭川厚生看護専門学校などの協力もあり、延べ1,300人が来場し、成功裡に終えたが、様々な課題も見つかったとの報告があった。

イ 高齢者・交通部会

佐藤（翔）部会長から次のとおり報告があった。

- ・なんでも懇談会

地域住民が興味のあることを考えて実際に実施する「なんでも懇談会」について、昨年度は東旭川中央地区で実施し、今年度は他の地区での実施を考えていたが、申込みがなく、実施に至っていないため、今後どのように周知していくかが課題である。

- ・栄養（口腔）に関する検討会

栄養・口腔に関する取組が少ないことから、栄養士や歯科衛生士などによる検討会「りぼんの会」で複数回会議を実施した。今年度の取組として、10月31日（金）に東旭川学校給食センター（ポプラキッチン）で料理教室を実施し37人が参加、口腔体操や栄養・塩分についての講話、おにぎりや豚汁の調理・試食を行い、栄養・口腔に関する普及啓発につながった。同教室については、来年度も継続する意向である。

- ・空き家対策

旭正、桜岡、豊田、米原瑞穂地区市民委員会と農業委員会、建築指導課、民間会社「みん0不動産」などが集まり、意見交換を実施した。すぐ解決できるような問題ではなく、明確な答えは出なかったが、担当課などとのつながりを作ることができた。空き家対策に係る事業は今年度で終了する予定である。

- ・無料送迎サービス〔旭正地区〕

障害福祉関連事業所の空き車両を利用し、月1回、買い物の送迎サービスを実施しており、利用者も定着しているが、新規の利用者を増やす取組みが課題である。無料送迎サービスは来年度も継続するが、今後はまち協事業としてではなく、地域単体での実施を目指していく。

- ・乗合タクシー（のり。タク）利用促進〔パーパン地区〕

桜岡、豊田、米原瑞穂地区市民委員会と事業担当の交通空港課による会議を実施した。第2回会議を本日（12月15日）実施し、停留所の新設や土日ダイヤの見直し、運賃の値上がりなどの話をしたほか、パーパン地区への探検ツアーを企画するのはどうかなどの意見が出た。

ウ あさひやまプライド部会

踊場部会長から次のとおり報告があった。

- ・SNSの活用

部会委員が管理するX「あさひやま情報局」を活用し、東旭川のイベント情報などの発信を行い、最大で1件の投稿に2,000人程度閲覧するなど大きな宣伝効果があった。

- ・ジョイントコンサート

9月13日（土）、旭川小学校体育館でジョイントコンサートを実施し、350人を超える方が来場し、子どもから大人まで楽しめるコンサートとなった。

- ・出張児童館 in 東旭川

児童センターの職員などの人手不足もあったが、なんとか「マチデコ＊キッズ」を何回か実施することができた。今後、出張児童館を継続できるように検討を進めていく。

- ・工場見学

工場見学の募集を旭川小児童（なんでもクラブ）にかけたが、人数が集まらず中止となった。日程の問題や旭川小でも工場見学を実施しているなどの理由が考えられるため、今後開催について検討していく。

- ・あさひやま探検ツアー

親子で旭山公園を探索し、新四国88か所巡礼の道や旭山に自生する植物の説明があり、参加者から大好評で子どもが東旭川を知る良い機会となったため、来年度も実施したいと考えている。

- ・東旭川地域魅力発見マップ

協力を依頼している旭川中学校美術部の生徒とまち協委員で打合せを行い、作成に当たっての考えや手段などを協議し、2～3月の完成に向けて進んでいる。東旭川地域魅力発見マップは今年度で終了する予定である。

エ 東旭川地域まちづくり実行委員会（全体）

事務局から次のとおり説明があった。

- ・まちづくり講演会

11月8日（土）、東旭川公民館講堂で東川国際文化福祉専門学校企画コーディネーター松岡市郎氏を講師として「まちの賑わいの創り方」をテーマに講演会を実施した。まち協委員を含めて45人が参加し、学びの多い機会となった。

- ・地域情報紙（東旭川まち協だより）

東旭川まち協の1年間の取組をまとめたものを東旭川地域住民に配布する予定である。地域情報紙は令和8年2月頃に完成・配布を考えている。

(3) 令和8年度事業（案）について

事務局から令和8年度事業について、各事業の継続か終了か、事業内容、予算案が提示された。事務局から予算は実績や部会長の意見を取り入れて検討したものであることや実際の予算執行に当たっては柔軟に対応するとの考えが示された。

(質疑応答)

Q：日の出倉沼地区で防災訓練の実施を検討しており、令和８年度の東旭川まち協の取組に加えることはできないか。

A：関係機関や委員の所属部会、事務局とも相談し、計画や経費などを具体的にまとめてから、再度東旭川まち協で諮る。

(4) その他

- ・事務局から来年度の委員改選に係る推薦依頼及び公募に係る協力の依頼があった。
- ・事務局から東旭川まち協の取組に係る情報共有の円滑化のために電子メールアドレスの提供依頼があった。

(質疑応答)

Q：公募に係る協力について、内容などがよく分からない。

A：公募については、令和８年２月頃に地域活動推進課が一括して手続きを進めるため、地域活動推進課から提供のあった資料などを東旭川まち協委員の方々にも情報提供する。

- ・踊場委員から旭川市地域学校協働活動研修会に参加し、東旭川まち協の取組について話したことの報告があった。また、同研修会の中で、子どもたちの目線でまちづくりについて考えてもらい、子どもたちの考えを実現するような取組を行うというような話があったとのこと。東旭川まち協でも旭川中学生徒などから意見を出してもらうような取組を行ってはどうかという提案が踊場委員からあった。

5 閉 会